

自然体験プログラム 2025年概要書

■タイトル：足こぎカヤック「HOBIE（ホビー）」

「HOBIE（ホビー）」は5人乗りの足こぎカヤックで、安全に海を感じながら、人と自然のつながりを学ぶ体験型プログラムです。協力してHOBIEを操作することで、チームワークやコミュニケーション力の向上にもつながります。

■期間：5月～10月末

■開催場所：南三陸・海のビジターセンター

（宮城県本吉郡南三陸町戸倉坂本21-1）

■所要時間：120分

■定員：16名～40名

※引率の方も乗船する場合、1名とみなします。

■服装：濡れても良い服装

■持ち物：帽子、タオル、サンダル（濡れてもよい靴）、雨カッパ

■注意事項（安全管理）

- ・体験中はガイドの指示に従って行動してください。
- ・海に落ちることはほぼありませんが、波しうきがかかったり、足元が濡れる場合があります。
- ・すべての参加者に救命胴衣が配られますので、正しく着用してください。
- ・乗船する際、救命具を装着するのでリュックなど大きな荷物はバスなどへ置いておくようお願いします。
- ・海上には救急対応資格を持つガイドが同行します。
- ・天候等の状況に応じて、内容を変更または中止する場合があります。
- ・地震等の自然災害が発生した場合は、指定避難場所の志津川自然の家へガイドが誘導します。

■体験内容

参加者は2グループに分かれて下記①、②のプログラムを入れ替えて行います。（20名以下はグループ分け不要）

① HOBIE 乗船体験

HOBIEは安定性に優れた足こぎ式カヤックで、お子様からご年配の方、体力に不安のある方まで安心してご利用いただけます。最大5名（前方に1名+漕ぎ手4名）が1艇に乗り、力を合わせて海上を進みます。

（船上での場所の移動が可能です。5人の場合は場所を変えて全員漕ぎます）

志津川湾ラムサール条約にも登録された志津川湾の海洋環境の豊かさや気候変動の影響、震災からの復興の歩みなどを、ガイドの解説とともに現地で「体感」しながら学ぶことができます。

藻場の重要性などについて自然というリアルなフィールドで学ぶことができ、生徒たちの主体性やチャレンジ精神、他者との協働力が育まれ、SDGs（とくに目標14「海の豊かさを守ろう」、11「住み続けられるまちづくりを」）にもつながる学びとなります

〈雨天時の対応〉

HOBIEは小雨でも行います。ただし強風や波が高い場合は晴天でも中止する場合があります。HOBIEの乗船ができない場合は「海のビジターセンター」内のプログラム（環境学習など）に切り替えて実施します。

※午後は波が高くなりやすいため、午前中の体験を推奨します。



② ネイチャー系カードゲーム学習・ビジターセンター見学

・ネイチャー系カードゲーム

当センターオリジナルカードゲーム「おさかなふえるかな？」をご用意しております。

このカードゲームは南三陸の海を舞台にした、藻場と磯焼けについて学ぶカードゲームです。今、海でどんなことが起きているのかをゲームを通じて学ぶことができ、海洋環境の課題について主体的に考える力を養います。



・ビジターセンター見学

国立公園や周辺の自然について学ぶことができるパネルや、手に触れて楽しめる展示があります

■料 金：1名7,150円(税込)

(HOBIEの運航ができない場合)

1名 円(税込) ※確認中